

橋本育英福祉基金

令和7年度 第1回運営委員会資料

- 岩見沢市育英福祉基金の概要① P 1
- 岩見沢市育英福祉基金の概要② P 2
- 基金の運用状況推移 P 3
- 基金充当事業の年度別推移 P 4
- 充当事業のうち福祉事業の概要 P 5
- 令和7年度充当事業について【福祉事業①】 . . P 6
- 令和7年度充当事業について【福祉事業②】 . . P 8
- 基金充当事業として考えられる事業 P 9

令和7年12月

岩見沢市育英福祉基金の概要①

1. 目的(基金条例第1条)

当市の育英及び社会福祉事業推進の財源となる基金の設置、及び運営について、必要な事項を定めることを目的とする。

2. 基金とする財産(基金条例第3条)

(1) 宅地 (昭和49年7月 橋本カタ 様から 寄附)

岩見沢市3条西2丁目11番地の1	1,048.16m ²
岩見沢市3条西2丁目11番地の2	522.08m ²
岩見沢市4条西2丁目1番地の1	319.96m ²
岩見沢市4条西2丁目1番地の2	159.37m ²
計	2,049.57m ²



(2) 現金(令和6年度までの累計)

(単位：円)

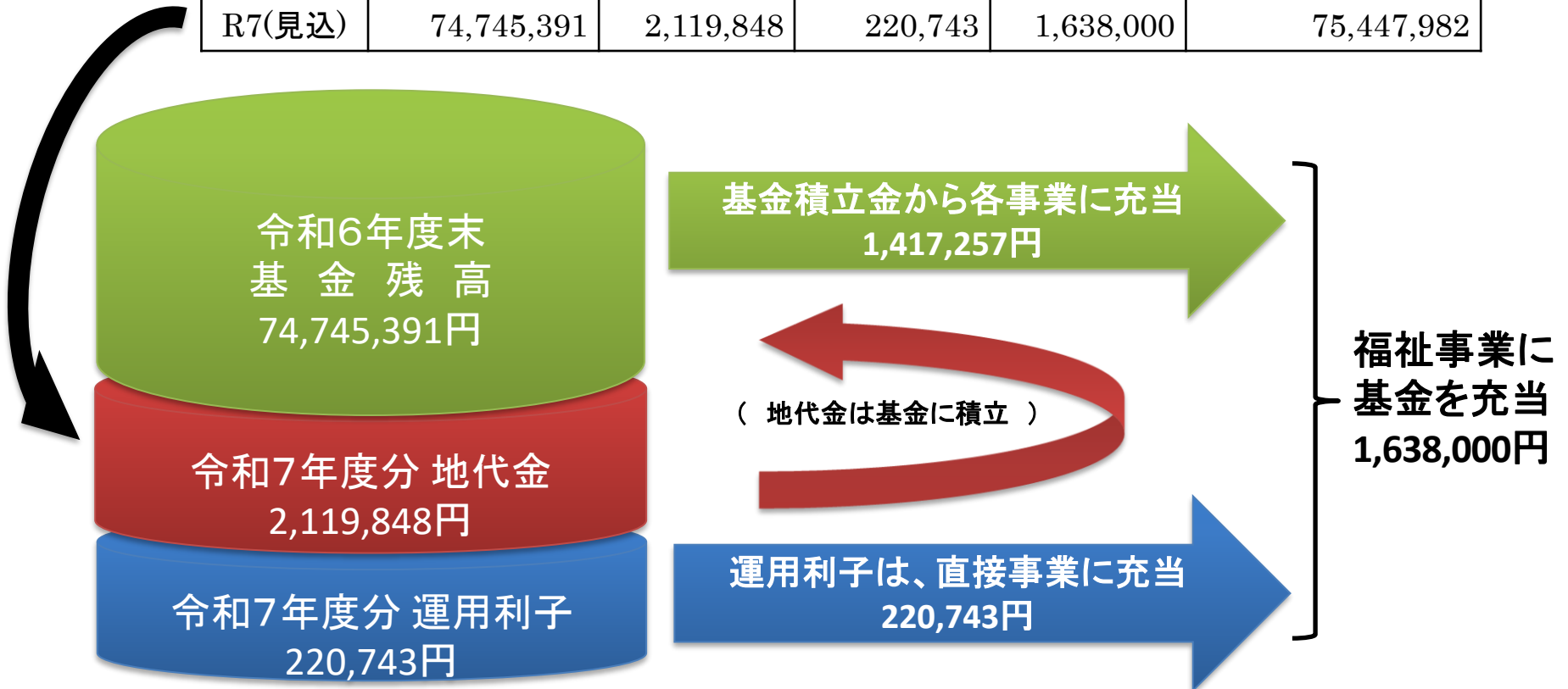
収 入 ①			支 出 ②	現在額 (①－②)
権利金	地代金	運用収入	取崩し	
35,960,000	195,719,183	20,034,776	176,968,568	74,745,391

岩見沢市育英福祉基金の概要②

3. 令和6年度末基金の状況及び令和7年度見込

(単位：円)

年 度	前年度末残金 ①	地代金 ②	運用利子 ③	事業充当額 ④取崩し	基金現金累計 (①+②+③-④)
R6	75,444,752	2,279,143	55,496	3,034,000	74,745,391
R7(見込)	74,745,391	2,119,848	220,743	1,638,000	75,447,982



基金の運用状況推移

(単位:円)

年 度	前年度末現金 ①	収 入				支 出	基金現金累計 (①+②+③-④)
		地代金 ②	運用利子 ③ (平均利率)		計 ②+③	取崩し ④	
R2	78,186,236	2,313,459	4,699	(0.006%)	2,318,158	2,313,000	78,191,394
R3	78,191,394	2,313,459	1,563	(0.002%)	2,315,022	3,827,000	76,679,416
R4	76,679,416	2,279,143	1,532	(0.002%)	2,280,675	2,830,000	76,130,091
R5	76,130,091	2,279,143	1,518	(0.002%)	2,280,661	2,966,000	75,444,752
R6	75,444,752	2,279,143	55,496	(0.074%)	2,334,639	3,034,000	74,745,391
R7(見込)	74,745,391	2,119,848	220,743	(0.295%)	2,340,591	1,638,000	75,447,982

基金充当事業の年度別推移

(単位:円)

年度	充当金額 合計	充当事業			
		福祉事業① (ブックスタート事業)	福祉事業② (あそびの広場運営事業)	福祉事業③ (健康経営推進事業)	育英事業 (国際交流推進事業)
R2	2,313,000	1,443,000		627,000	243,000
R3	3,827,000	1,242,000	1,980,000	605,000	
R4	2,830,000	1,150,000		550,000	1,130,000
R5	2,966,000	1,061,000		686,000	1,219,000
R6	3,034,000	1,040,000		700,000	1,294,000
R7(見込)	1,638,000	915,000		723,000	

充当事業のうち福祉事業の概要

年 度	基金充当額	事業名	事 業 概 要
R2	2,070,000	ブックスタート事業 1,443,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 627,000	健康づくりの絵本（600冊：小学校1年生）
R3	3,827,000	ブックスタート事業 1,242,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		あそびの広場運営事業 1,980,000	遊具拡充（木質系知育型遊具等購入）※基金取崩し
		健康経営都市推進事業 605,000	健康づくりの絵本（600冊：小学校1年生）
R4	1,700,000	ブックスタート事業 1,150,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 550,000	健康づくりの絵本（500冊：小学校1年生）
R5	1,747,000	ブックスタート事業 1,061,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 686,000	健康づくりの絵本（480冊：小学校1年生）
R6	1,740,000	ブックスタート事業 1,040,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 700,000	健康づくりの絵本（490冊：小学校1年生）
R7 (見込)	1,638,000	ブックスタート事業 915,000	ブックスタートパックの進呈、乳幼児への読み聞かせ等
		健康経営都市推進事業 723,000	健康づくりの絵本（430冊：小学校1年生）

令和7年度充当事業について 【福祉事業 ①】

ブックスタート事業 予算額 113.2万円（うち基金充当額 91.5万円）

【事業の内容】

「ブックスタート・パック」

絵本の世界を親子で共有し、心触れ合うきっかけづくりのために、0歳児とその保護者を対象として、8・9か月児健診時に絵本を開く楽しい体験とブックスタート・パックを贈ります。



ブックスタートパック受渡状況

※(カッコ)内の数値は見込の人数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R6	誕生月	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	303
	人数	29	34	16	28	31	27	25	23	22	24	22	22	
R7	誕生月	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	R7.4	R7.5	R7.6	271
	人数	25	28	22	24	21	20	24	14	(27)	(19)	(26)	(21)	

「ベビカフェ」

ブックスタートのフォローアップ事業として、3歳未満の乳幼児とその保護者を対象として図書館司書・保育士・保健師がそれぞれの専門性を生かし、絵本と出会って間もない赤ちゃんが、絵本を通して親子の触れ合いを深め、将来にわたって多くの本に親しみながら成長していけるように、家庭での読書と親子の健康、子育て相談を一体化させた子育て支援を行う。

実施内容

- 例年、7月、11月、3月の年3回、乳幼児を対象とした読み聞かせや絵本の紹介、保健師や保育士による子育て、健康相談等
- ・絵本の紹介（図書館職員）
 - ・絵本読み聞かせ（ボランティア）
 - ・親子のスキンシップ遊び（保育士）
 - ・自由遊び、育児・健康相談等（保育士、保健師、図書館職員、ボランティア）

《ベビカフェの開催模様》



令和7年度 ブックスタート絵本

R7年4月～R7年12月 配布	R8年1月～R8年3月 配布
対象児：R6年7月1日生 ～R7年4月1日生	対象児：R7年4月2日生 ～R7年6月30日生
<p>『いない いない ばあ』 松谷 みよ子／作 瀬川 康男／絵 同心社</p> 	<p>『だるまさんが』 かがくいひろし／作・絵 ブロンズ新社</p> 
<p>『ぺんぎんたいそう』 齋藤 槇／作 童心社</p> 	<p>『ぺんぎんたいそう』 齋藤 槇／作 童心社</p> 

絵本2冊 / 岩見沢市ブックスタート事業のチラシ
親子ひろばマップ / アドバイスブックレット
赤ちゃん用ブックリスト「はじめての絵本」 / おもいでノート
図書館パンフレット / 赤ちゃん向け 図書館行事チラシ
ブックスタート布製バッグ

しあわせ広げる愛情ことば 岩見沢市ブックスタート事業 抱っこのあたたかさのなかで



平成25年7月開始

私たち岩見沢市民は、赤ちゃん一人ひとりの健やかな成長を、みんなで応援しています！

今日、ボランティアの皆さんから温かいメッセージとともに手渡されたブックスタート・パックは、親子が絵本をとおして心を触れあわせるきっかけを届けようと、橋本育英福祉基金事業から贈られました。

赤ちゃんにとって、大切な絵本になることを願っています。

岩見沢市立図書館



令和7年度充当事業について【福祉事業②】

健康経営都市推進事業 予算額 1,170.7万円（うち基金充当額 72.3万円）

健康づくりの絵本の配付

令和2年度に北海道大学、絵本作家すずきもも氏と作成

⇒小学校1年生から使える、健康づくりをテーマとした絵本を配付



健康を考えるきっかけづくりのため、子どもに正しい生活習慣を身につけるための教材として、学校や児童館等での活用、子どもから父母、祖父母にもアプローチし、大人の生活習慣の改善にも繋げる

学 校 名	R3	R4	R5	R6	R7
岩見沢小学校	45	40	36	41	41
中央小学校	65	50	60	55	53
南小学校	66	58	63	50	51
志文小学校	29	29	42	27	24
幌向小学校	45	37	35	40	20
東小学校	53	40	50	31	23
美園小学校	63	64	55	53	48
日の出小学校	56	45	31	40	38
第一小学校	60	67	65	68	62
第二小学校	19	16	20	27	21
北真小学校	14	20	13	15	22
メープル小学校	5	2	2	8	3
北村小学校	12	8	10	11	6
くりさわ学舎	18	20	13	16	16
合計	550	496	495	482	428



小学1年生へ配付

1年生から高学年、大人まで活用



*この絵本は、橋本育英福祉基金を活用して印刷されたものです。

基金充当事業として考えられる事業

区分	対象者	事業名	事業予算	充 当 額 配分予定額	配分割合	事 業 内 容
R8 充当事業 (案)	育英事業 中学・高校生	継続 国際交流推進事業	985万円	150万円	24.5%	姉妹都市のポカテロ市へ中高生訪問団の派遣・交流費用の一部を補助
	福祉事業 小学1年生	継続 健康経営都市推進事業	1,020万円	一部取崩 73万円	11.9%	小学1年生に健康づくりをテーマとした絵本を配付
	福祉事業 親と乳幼児	継続 ブックスタート事業	112万円	95万円	15.5%	乳幼児健診時に絵本などをブックスタートパックとして贈呈 ※R8はR7.7月以降に誕生した子
	福祉事業 幼児～小学生	新規 あそびの広場運営事業	3,437万円	取崩 294万円	48.1%	子どもの成長に応じた安全な遊び場を提供するため、あそびの広場における遊具の拡充
	計		5,554万円	612万円	100.0%	

区分	対象者	事業名	事業予算	充 当 額 配分予定額	配分割合	事 業 内 容
R7 充当事業	福祉事業 小学1年生	継続 健康経営都市推進事業	1,171万円	72.3万円	44.1%	小学1年生に健康づくりをテーマとした絵本を配付
	福祉事業 親と乳幼児	継続 ブックスタート事業	114万円	91.5万円	55.9%	乳幼児健診時に絵本・読み聞かせアドバイス集などをブックスタートパックとして贈呈
	計		1,285万円	163.8万円	100.0%	

3 活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち（7）国際・地域間交流の推進

国際交流推進事業

新規	拡充	変更



事業の目的 国際性豊かな地域社会を目指し、世界に開かれた活力のあるまちづくりを推進します。

事業の概要 姉妹都市への訪問団派遣をはじめ、諸外国との交流の推進や国際交流員（CIR）による多文化理解等に向けた各種事業に取り組みます。

事業開始年度 昭和60年度

【事業の経過】

S60.5.20 米国アイダホ州ポカテロ市と姉妹都市提携
H1. 7.19 米国オレゴン州キャンビー市と姉妹都市提携
（旧栗沢町において提携）

姉妹都市交流事業

市民の国際感覚の醸成と多文化に触れる機会の提供
ポカテロ市

- 毎年10名前後の中高生が相互訪問
- 5年毎に姉妹都市提携の周年記念として大人による相互訪問

（単位：人）

【姉妹都市ポカテロ市への訪問団派遣状況】

	～H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
中高生	255	11	12	11	-	-	6	7	11	-	313
大人	165	-	-	-	中止	中止	-	-	-	5	170

※R2、R3年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、ポカテロ市への派遣中止
※キャンビー市との姉妹都市交流はR2より休止中



訪問旅費の一部に橋本育英福祉基金を活用しています。

国際交流員（CIR）の活動

- ・市内の国際交流団体向け英会話教室のほか、保育園や町内会等で海外文化を伝えるレッスンや講演
- ・市内の学校を訪問し、児童生徒に海外文化を紹介する授業の実施
- ・外国人住民への窓口対応の補助（通訳・翻訳）
- ・市民向け多文化理解講座の開催
- ・英語版生活ガイドブックの作成
- ・SNSによる情報発信

市内国際交流団体との連携

- ・各団体総会、行事への参加
- ・姉妹都市交流、市主催行事への協力要請



根拠法令：

関連計画：

令和8年度予算額

985万円

総務部総務課

2 みんなが健康で元気に暮らせるまち (1) 健康づくりの推進

健康経営都市推進事業

新規	拡充	変更



事業の目的 「人もまちも企業も元気で健康」な地域社会の形成に向け、産学官金の連携により、健康経営都市を推進します。

事業の概要 北海道大学COI-NEXTとの連携のもと、自分の元気を発見し、健康維持・増進やフレイル予防・改善に向けた取り組みである「げんき発見ドック」を実施するなど、産学官金が一体となって、健康経営都市を推進する。

事業開始年度 平成29年度

平成28年6月 健康経営都市宣言

「人もまちも企業も元気で健康」をテーマに、地域の健康管理の目的を「医療や介護予防」から「健康で生きがいを持って暮らせる地域創出」へと変革させていく考え方。

特定非営利活動法人健康経営研究会により、平成28年6月に全国の自治体として初めて認定された。

●平成29年度～

【新しい地域】生活・健康づくりのサービスを提供するための基盤構築を目指した取り組み

【新しい生活】健康予報システムの構築・拡充や市民・企業向けのサービス提供に向けた検討

北大COIと連携した健康コミュニティの推進

【新しい産業】農・食・健康を連動させた新商品開発に向けた検討

●令和元年度 げんき発見ドック※の開始

※従来の「管理」のための健康診断から自分の「げんき」を「発見する」ポジティブな健康づくりのための取り組み

●令和3年度 母子健康調査をはじめとした妊娠期から出産、子育てを継続的にサポートする子育て支援施策や産学官が連携して市民意識や行動変容を促す取組みが評価され、プラチナ大賞を受賞
北大COI-NEXTと連携した取組みを開始(R3.11～)

事業名	項目	R4	R5	R6
北大COI 地域健康講座	実施回数	4回	10回	7回
	参加者数	88人	347人	275人
健康ひろば	来場者数	10,836人	9,362人	10,963人
	うち健康チェック	578人	588人	928人

根拠法令:

関連計画: 岩見沢市健康増進計画、岩見沢市地域福祉計画、岩見沢市総合戦略

少子高齢化の進展に伴い、公的社会保障(いわゆる「まもる」基盤)だけではなく、人々の暮らしを支えていくため、「つくる」、「つなぐ」という新しい視点を加え、地域独自の社会保障基盤の構築を目指しています。

- 医療や介護等の公的サービス、健康診査やがん検診などの「まもる」健康
- 市民自ら健康づくりを進める「つくる」健康
- 環境づくり・人・地域・企業や啓発などを通じてこれらを「つなぐ」健康



令和8年度予算額

1,020万円

健康福祉部健康づくり推進課

4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち (1) 子ども・子育て支援の充実

新規	拡充	変更



ブックスタート事業

事業の目的 赤ちゃんと保護者が、絵本を通して心触れ合うきっかけを作ります。

事業の概要 赤ちゃんと保護者を対象に、一緒に絵本を開く楽しさを伝えるとともに、ブックスタートパックを贈ります。
また、3歳未満の乳幼児を対象に読み聞かせや絵本の紹介などを行う「ベビカフェ」を実施します。

事業開始年 平成25年度

【見直し等の経過】

平成25年 7月 ブックスタート事業開始

平成25年11月 フォローアップ事業として、ベビカフェを実施
(以降、ベビカフェは年3回開催)

赤ちゃん和絵本を開く喜びを分かち合います

- 「ブックスタート」は、すべての赤ちゃん和保護者に、絵本と共に、一緒に絵本を開く楽しい時間を届ける活動です。
- 「ベビカフェ」は、市立図書館で年に数回開催されます。
- 親子で本に親しむひと時が、赤ちゃんの健やかな成長につながります。

【事業実績】

		R5年度	R6年度	R7年度 (R7.10月末)
ブックスタート	実施回数	12回	12回	7回
	参加人数	306人	303人	164人
	配布率	98%	99%	98%
ベビカフェ	実施回数	3回	3回	1回
	参加者数	66人	67人	8人

※配布率は、ブックスタート対象の赤ちゃん数に対するパック配布数

8・9か月健診時に行います

こども家庭センターから対象の赤ちゃんに案内をお送りしています。

NPOブックスタートについて

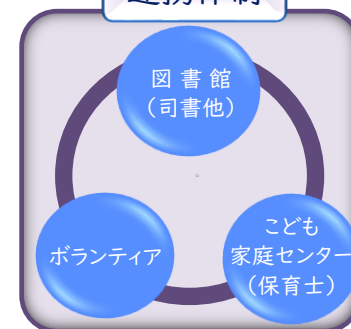
ブックスタート事業は、民間の非営利組織「NPOブックスタート」の支援のもとで実施されています。NPOブックスタートは、絵本が親子のふれあいをもたらすという理念のもと、ブックスタートを実施する自治体に廉価で絵本を提供しています。

ブックスタートパックの内容
・絵本2冊 ・布製バッグ
・アドバイスブックレット集
・絵本の選び方

.....
ブックスタートパックは橋本育英福祉基金を財源として購入しています。



連携体制



図書館職員、保健師、保育士が主体となりボランティアの皆様と共に築く事業です

根拠法令:

関連計画: 岩見沢子どもの読書推進計画『いわみざわの子ども読書プラン』

令和8年度予算額

112万円

教育部図書館

4 豊かな心と生きる力をはぐくむまち (1) 子ども・子育て支援の充実

あそびの広場運営事業

新規	拡充	変更



事業の目的 こどもの成長に応じた安全な遊び・交流を通じ、安心して子育てをすることができる環境を提供します。

事業の概要 であえーる岩見沢3階の子育て支援拠点「こども・子育てひろば『えみふる』」の中心にある屋内型の「あそびの広場」を管理運営します。

事業開始年度 平成27年度

【見直し等の経過】

平成28年 3月 あそびの広場設置・運営開始
令和 8年 4月 施設使用料を改定

【利用料金】

区 分	使用料	
	市 民	市民以外
個人使用	100円	300円
団体使用 (1人につき)	90円	270円

小学生未満は無料。

団体使用：小学生以下が20人以上の場合。
引率者は3人まで無料。市内の保育園、幼稚園、小学校の団体 利用は無料（平日に限る）

【あそびの広場利用実績】

(単位:人)

		R2	R3	R4	R5	R6
個人利用	市内	8,619	10,341	11,741	17,156	19,330
	市外	9,435	12,899	28,579	37,916	36,258
	小計	18,054	23,240	40,320	55,072	55,588
団体利用		1,383	2,605	2,784	1,820	1,425
合 計		19,437	25,845	43,104	56,892	57,013

ふたつのあそび場

天候を気にせず一年を通じて利用できる屋内型あそび場は、約1,200㎡の広々とした空間に「はらっぱひろば」と、「ごろごろひろば」があります。

「ごろごろひろば」には約1,100種類の絵本や木製玩具があり、大人も子どもと一緒にゆったりと遊ぶことができます。



「はらっぱひろば」の大型複合遊具。登る、渡る、滑るなど様々な遊びや体験ができます。

帯状のウェビングの上でバランスを楽しむスラックライン。インストラクターによる指導のもと、発達や技術に合わせて、楽しめる教室事業を開催しています。



アクアルームではこどもの感覚を刺激する環境をつくり、療育に効果の高いプログラムを提供しています。

根拠法令：岩見沢市あそびの広場条例

関連計画：岩見沢市総合戦略、岩見沢市こども計画

令和8年度予算額

3, 4 3 7 万円

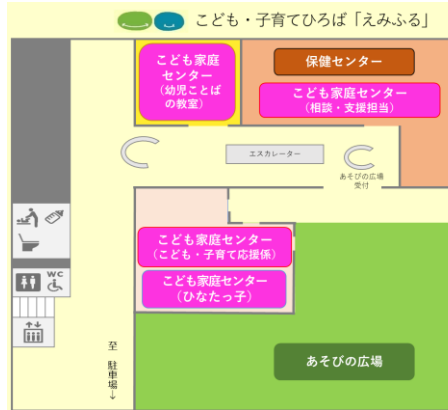
健康福祉部こども未来課

あそびの広場の遊具の拡充について

1 あそびの広場の役割(コンセプト)について

『親子が集まるところがこども・子育て支援の拠点に』

- ①親子が気軽に集まれる場所として、“あそびの広場”を整備
- ②あそびの広場の周りに子育ての相談・支援窓口を配置



(こども家庭センター)



(あそびの広場)

■ ソーシャルワークシステムの構築

あそびの広場
(スタッフ)

連携

こども家庭センター
こども・子育て応援係、相談・支援担当、幼児ことばの教室、
常設型子育て親子ひろば「ひなたっ子」
(保健師、心理士、言語聴覚士、保育士、歯科衛生士、
栄養士、社会福祉士、家庭相談員)

■ 悩みが大きくなる前に解決

悩みが大きくなる前に不安や問題を解決するため、**こどもと保護者が一緒に気軽に行ける場所**で、子育てに関する相談や支援を受けられる環境

これまで児童虐待等の深刻な事例に限られていた、さまざまな機関が連携して行う**メゾ(地域)レベルの支援を日常的に**受けることができる

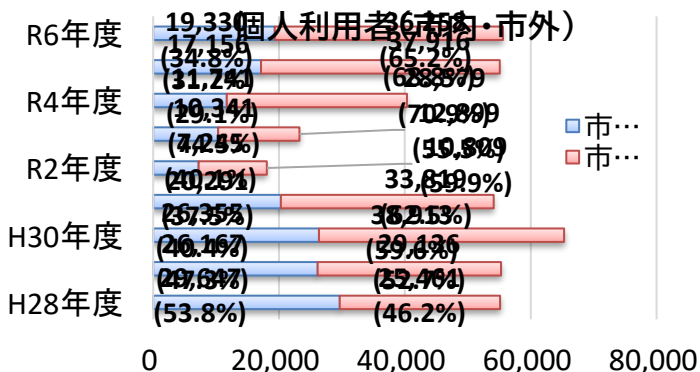
あそびの広場はソーシャルワークシステムの入口の役割を担っている

市内の
子育て世帯へ
手厚い支援
体制

2 利用実績と課題分析について

(1) 利用実績

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	9か年計
個人利用	55,108	55,303	65,268	54,110	18,054	23,240	40,320	55,072	55,588	422,063
市 内	29,647	26,167	26,355	20,291	7,245	10,341	11,741	17,156	19,330	168,273
市 外	25,461	29,136	38,913	33,819	10,809	12,899	28,579	37,916	36,258	253,790
団体利用	1,252	1,342	1,212	1,193	1,383	2,605	2,784	1,820	1,425	15,016
計	56,360	56,645	66,480	55,303	19,437	25,845	43,104	56,892	57,013	437,079



■開設から9年間で延べ43万7千人以上が利用。

■利用割合は市内4割・市外6割であるが、コロナ禍後は市内3割・市外7割となっており、市内利用者の占有率が減少傾向にある。

■令和2年2月から令和5年5月までコロナ禍による休館や入場制限を設けた運営を実施したことに伴い、利用者は減少。

(2) 課題分析

① 小学生の利用が少ない

こどもの利用割合は未就学児7割・小学生3割となっており、小学生の占有率が低い。

個人利用	R4年度	R5年度	R6年度	3か年計	占有率
未就学児	16,337	21,127	20,636	58,100	73.7%
小学生	4,489	7,664	8,622	20,775	26.3%
計	20,826	28,791	29,258	78,875	100.0%

② 親子やきょうだいと一緒に遊べる遊具が少ない

親子で一緒に遊べる遊具として、未就学児は絵本や知育玩具などがあるものの、小学生は手先を使うサッカーのテーブルゲーム、身体を使って遊ぶサイバーホイールなどに限られる。

①②を踏まえたこれまでの対応

第3クール時間を活用し、小学生とその保護者を主なターゲットとして、各種スポーツ教室などの提供型の遊びを展開し、利用者を飽きさせない取組や工夫を実施。

あそびの広場の遊具の拡充について

3 令和8年度の遊具更新・拡充(今後の展開)について

開設から10年の節目を迎える令和8年度は、開設以来初めて利用料金の改定(市民以外の料金を100円から300円に引き上げ)を行うとともに、新たに5年間の指定管理者を指定し、特に市内利用者の利用率及び満足度の向上を図ることを目的に、既に実施している各種スポーツ教室等の提供型の遊びに加え、**親子やきょうだいと一緒に楽しむことができる遊具を新たに導入・展開**していく。

①ウォールゲーム、ウォールプレイ(壁面遊具)の更新及び増設

あそびの広場の外の通路に設けている壁面遊具。現状3台設置し、利用者の出迎え・見送りの役割を果たしているが、利用頻度が非常に多く、劣化が激しい。壁面遊具の更新及び増設により、**利用前のワクワク感や利用後の「また来たい」の気持ちを高め**、満足度の向上につなげる。



②サイバーホイールの更新

「ぱらっぱひろば」に設置している遊具。利用者が多い日には特に順番待ちが発生するほど人気が高い遊具であるため劣化が激しく、現在は1クールごとに空気を入れる必要がある状況。

親子やきょうだいが協力し、身体を動かして遊ぶことのできる数少ない遊具であるため、遊具を更新し、引き続き利用ニーズに応える。

【対象年齢】3歳頃～

【遊具特長】適度な弾力の壁に守られた空間の中で、でんぐり返しをしたり、転がしたりと全身を使って自在な動きができる。中でバランスをとろうとすることで、平衡感覚や筋力、集中力などが鍛えられる。遊びながら楽しく回転する動きを体験できる遊具。



令和8年度 拡充遊具一覧

	数量	金額
えみふるフロア		
ウォールゲーム	2	70,400
ウォールプレイ	4	193,600
壁面遊具設置箇所増設費用	1	112,000
はらっぱひろば		
サイバーホイール	1	225,500
ビッグブロック (クッションシート含む)	1	2,348,000
計		2,949,500

③ビッグブロックの導入

様々な形のブロックがたくさんあり、自由に組み合わせて作品をつることができる、創造性を育む遊具。

軽量で適度な弾力と耐久性があり、**親子やきょうだいだけでなく、幅広い年齢の子ども同士が一緒に考え、試行錯誤しながら遊ぶことができる遊具**であることから、未就学児や小学生、保護者みんなと一緒に楽しむことができるものとして新たに導入する。

【対象年齢】3歳頃～

